

金沢区の洲崎東部町内会が、「まちの防災広場」を整備しました！

■「まちの防災広場」について

老朽化した空き家を解体し、跡地を防災広場として整備しました。災害発生時は一時避難場所として、平常時は防災訓練や地域のコミュニティスペースとして活用します。

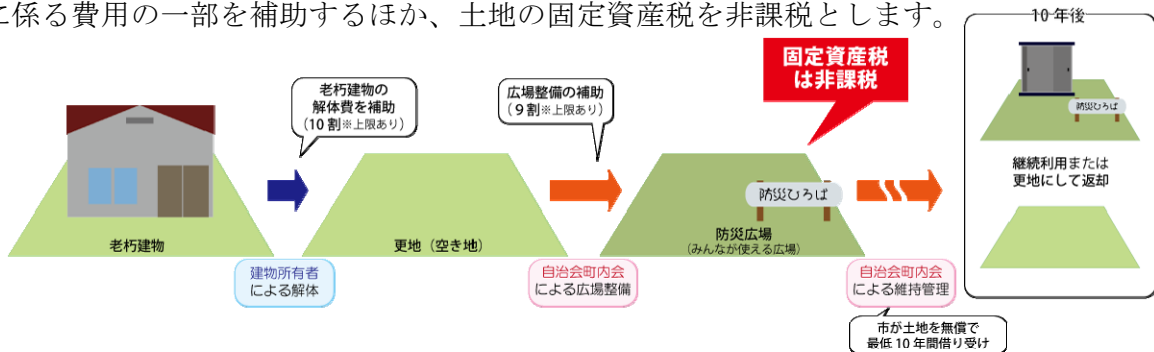
横浜市の「身近なまちの防災施設整備事業」を活用し、町内会、地権者、横浜市の3者が協力して実現しました。



【概要】
 位置：金沢区洲崎町 16-18
 面積：146.94 m²
 整備内容：ブロック塀＋フェンス、
 砕石舗装

■「まちの防災広場整備事業」とは

「身近なまちの防災施設整備事業」の補助メニューの一つであるこの制度は、横浜市が地権者から土地を無償で借り受け、自治会町内会等の団体がまちの防災広場を整備して維持管理を行うことで、まちの防災性の向上及び住環境の改善やコミュニティ形成を図るものです。市は、老朽建築物の解体や広場整備に係る費用の一部を補助するほか、土地の固定資産税を非課税とします。



お問合せ先

【町内会活動について】	洲崎東部町内会 会長	菊地 清一	Tel 045-701-9496
【制度全般について】	都市整備局防災まちづくり推進課長	白井 一彦	Tel 045-671-3663
【金沢区のまちづくりについて】	金沢区区政推進課長	米山 岳夫	Tel 045-788-7721